

# 決算補足説明資料

2024年12月期 第1四半期

西本Wismettacホールディングス株式会社

2024年5月15日





Table of Contents



1. サマリー
2. 2024年12月期 第1四半期決算概要
3. 2024年12月期 業績予想・配当予想修正
4. (参考) 戦略投資・その他計画の進捗
5. (参考) Wismettacグループについて

## 2024年12月期 第1四半期決算概要

- ◆ 売上高は、主力のアジア食グローバル(AFB)事業を中心に前年同期比で増収。
- ◆ 利益面は、AFB事業における買収効果等により粗利益は確保するも、北米等における販管費の増加、アグリ事業の国内向け事業における損失計上等により、前年同期比で減益。

2023年第1四半期	売上高	698億円	営業利益	32億円	経常利益	34億円	四半期純利益	23億円*
<b>2024年第1四半期</b>	<b>売上高</b>	<b>802億円</b>	<b>営業利益</b>	<b>14億円</b>	<b>経常利益</b>	<b>16億円</b>	<b>四半期純利益</b>	<b>9億円*</b>

(\*) 親会社株主に帰属する四半期純利益

## 2024年12月期 連結業績予想・配当予想修正

- ◆ 足元の業況、着手済の各種施策に係る取組状況や当期業績への影響等を勘案し、中間及び通期連結業績予想を修正。

【修正前】	通期	売上高	3,540億円	営業利益	150億円	経常利益	150億円	当期純利益	90億円*
	(中間)		(1,650億円)		(70億円)		(70億円)		(45億円*)
【修正後】	通期	売上高	<b>3,540億円</b>	営業利益	<b>120億円</b>	経常利益	<b>125億円</b>	当期純利益	<b>80億円*</b>
	(中間)		<b>(1,650億円)</b>		<b>(40億円)</b>		<b>(45億円)</b>		<b>(30億円*)</b>

- ◆ 期中平均為替レートは変更なし。(1 \$ = 135円、1 € = 145円)

(\*) 親会社株主に帰属する四半期/当期純利益

- ◆ 配当については通期で30%程度の連結配当性向を目安とする。中間及び通期連結業績予想の修正に伴い修正。

【修正前】	中間	90円	期末	100円 (株式分割後33.33円)	通期	190円 (株式分割後63.33円)*
【修正後】	中間	<b>60円</b>	期末	<b>110円 (株式分割後36.66円)</b>	通期	<b>170円 (株式分割後56.66円)*</b>

(\*) 2024年6月30日を基準日として、1株につき3株の割合で株式分割を実施予定。通期配当金額は中間配当を遡及して分割した場合の金額を記載。



Table of Contents

1. サマリー
2. **2024年12月期 第1四半期決算概要**
3. 2024年12月期 業績予想・配当予想修正
4. (参考) 戦略投資・その他計画の進捗
5. (参考) Wismettacグループについて

# 2024年12月期 第1四半期決算概要

## 概要 (全体)

- ◆ 売上高は前年同期比 **+15.0%**の増収。
  - 当第1四半期より連結決算に取り込まれたイタリアUniontradeグループ(UT社)による増収効果が寄与。
- ◆ 営業利益は、アグリ事業における円安の影響等による収益性の低下や販売数量の減少、AFB事業における販管費増加等が影響し、前年同期比で減益。

(単位：億円)

		2023年12月期	2024年12月期	前年同期比	
		第1四半期	第1四半期		
業 績	売上高	698	802	+104	+15.0%
	売上総利益	146	168	+22	+15.1%
	営業利益又は損失 (△)	32	14	▲18	▲55.6%
	経常利益又は損失(△)	34	16	▲18	▲53.7%
	親会社株主に帰属する四半期純利益 又は損失 (△)	23	9	▲14	▲59.9%
1株当たり四半期純利益又は損失 (△)		161.01円	64.78円	▲59.8%	
円ドルレート (期中平均)		132.34円	148.61円	+16.27円	
円ユーロレート (期中平均)		142.10円	161.31円	+19.21円	

# 2024年12月期 第1四半期セグメント別概況

## アジア食グローバル事業 (AFB)

- ◆ 売上高は前年同期比 **+18.6%**の増収。(北米 同+11.4%、欧州 同+49.9%\*、アジア・豪州地域 同+4.4%。) \*UT社除く前年同期比 +10.9%
  - 北米ではレストラン向け食材販売が伸び悩むも、グロサリー向け販路の売上が前年同期比で増加。欧州はUT社による増収効果もあり、概ね堅調。
- ◆ 営業利益は、適切な価格転嫁等による利益率維持に努めるも、インフレの影響等により販管費が増加。
  - 北米は、前期の後半以降に段階的に実施した人材維持・確保のための報酬水準の引上げ、倉庫設備等の賃料上昇等の増加要因が影響。

## アグリ事業\*

(\* ) 2024年第1四半期よりセグメント名称変更

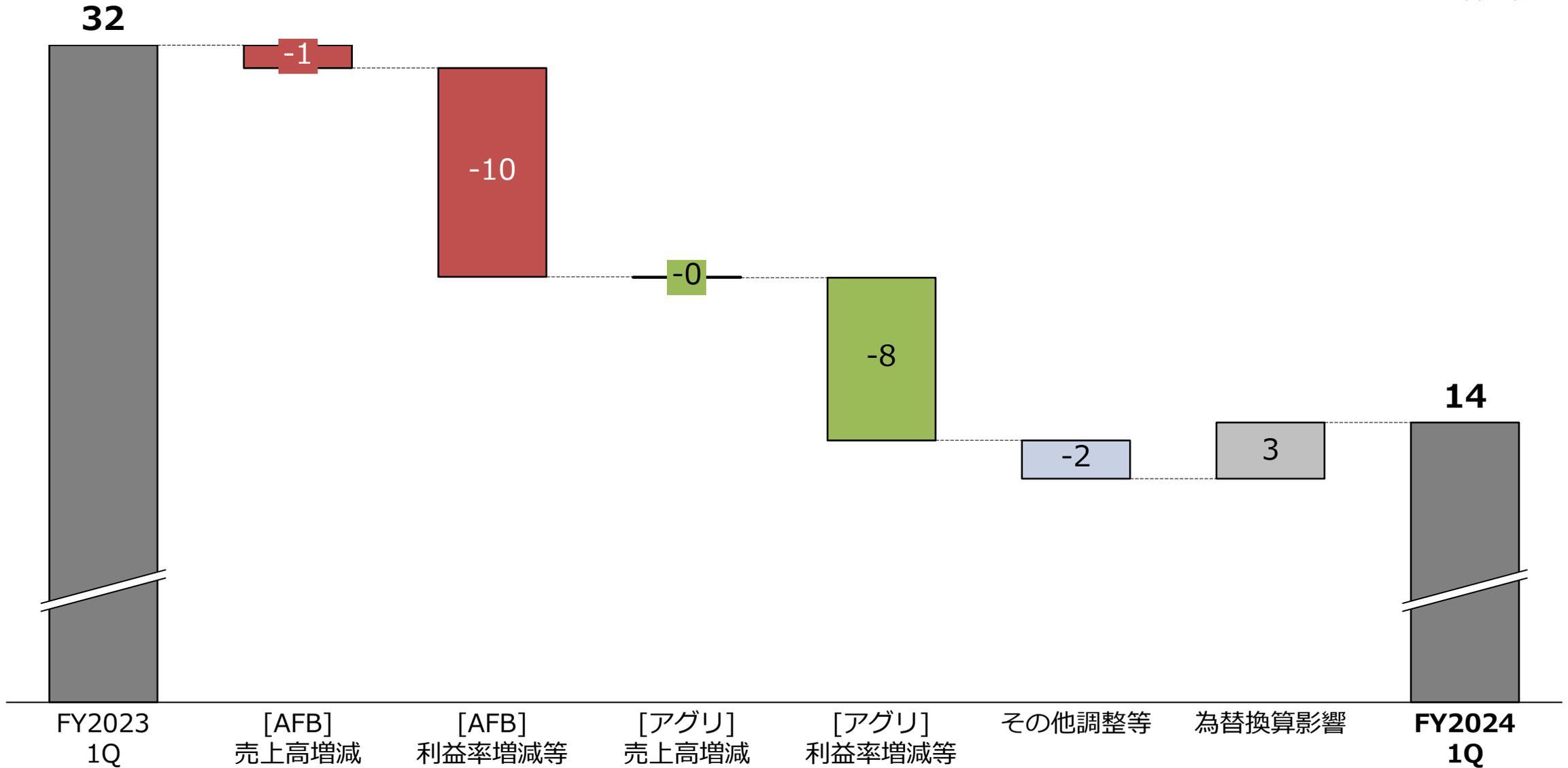
- ◆ 売上高は前年同期比で減収。
  - 国内では、販売価格の上昇及び輸出事業における順調な出荷により前年同期比で増収する一方、海外子会社では、収益性を重視した販売施策の実施及び、産地側での不作や不安定な海上輸送等に起因する販売時期・収益機会の逸失等が影響。
- ◆ 営業利益は、国内向け青果事業において、急激な為替変動に伴う収益性や価格競争力の低下、販売数量の減少等の影響により損失を計上。
  - 同事業については、取扱商材や費用構造の見直し等を含む抜本的な構造改革を実施中であり、収益力の改善を図る。

(単位：億円)

事業セグメント		2023年12月期	2024年12月期	前年同期比		[為替換算影響控除後] 前年同期比	
		第1四半期	第1四半期				
AFB	売上	555	658	+103	+18.6%	+37	+6.6%
	営業利益又は損失(△)	35	27	▲8	▲23.2%	▲11	▲30.8%
アグリ	売上	129	129	▲0	▲0.1%	▲2	▲1.7%
	営業利益又は損失(△)	▲0	▲8	▲8	-	▲8	-
国内その他	売上	13	14	+1	+11.3%	+1	+11.3%
	営業利益又は損失(△)	1	0	▲1	▲91.8%	▲1	▲91.8%
調整項目	売上	-	-	-	-	-	-
	営業利益又は損失(△)	▲4	▲5	▲1	-	▲1	-
合計	売上	698	802	+104	+15.0%	+36	+5.1%
	営業利益又は損失(△)	32	14	▲18	▲55.6%	▲20	▲63.8%

# 営業利益 主な増減要因（前年同期比）

単位：億円



# (参考) セグメント別・地域別売上・利益構成

※管理会計ベース



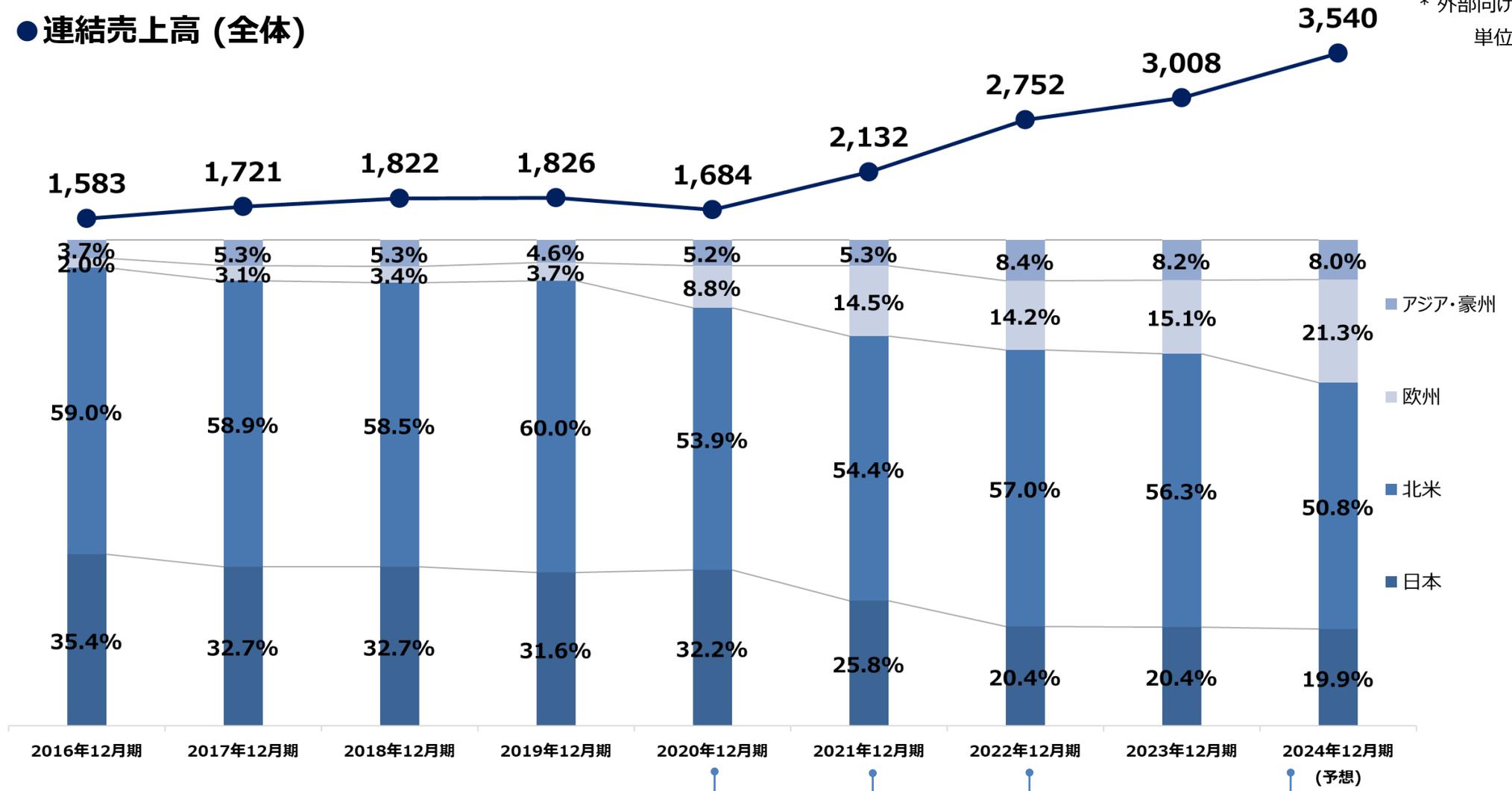
(単位：億円)

	2023年12月期 第1四半期		2024年12月期 第1四半期		前年同期比				為替換算影響控除後 前年同期比				主要な要因
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
<b>AFB事業</b>	<b>555</b>	<b>35</b>	<b>658</b>	<b>27</b>	+103	+18.6%	▲8	▲23.2%	+37	+6.6%	▲11	▲30.8%	
北米	404	32	449	20	+46	+11.4%	▲11	▲35.4%	▲3	▲0.8%	▲13	▲42.5%	
欧州	103	5	154	6	+51	+49.9%	+1	+29.6%	+37	+35.8%	+1	+18.4%	イタリアUT社連結寄与
アジア・豪州	32	1	34	1	+1	+4.4%	▲0	▲18.4%	▲1	▲4.2%	▲0	▲23.7%	
日本	18	0	22	1	+5	+26.6%	+1	+296.8%	+5	+26.6%	+1	+296.8%	
のれん等償却		▲2		▲3	-	-	▲1	-	-	-	▲1	-	
セグメント調整項目	▲1	▲1	▲1	1	▲0	-	+2	-	▲0	-	+2	-	
<b>アグリ事業</b>	<b>129</b>	<b>▲0</b>	<b>129</b>	<b>▲8</b>	▲0	▲0.1%	▲8	-	▲2	▲1.7%	▲8	-	
アジア・豪州	29	0	21	▲0	▲8	▲26.9%	▲1	-	▲10	▲34.3%	▲1	-	
日本	102	▲0	113	▲7	+10	+9.9%	▲7	-	+10	+9.9%	▲7	-	
のれん等償却		▲0		-	-	-	+0	-	-	-	+0	-	BCM社のれん等償却 (2024年度は計上なし)
セグメント調整項目	▲2	▲0	▲4	▲1	▲2	-	▲1	-	▲2	-	▲1	-	
<b>その他事業</b>	<b>13</b>	<b>▲0</b>	<b>14</b>	<b>▲1</b>	+1	+9.6%	▲0	-	+1	+9.6%	▲0	-	
日本	13	▲0	14	▲1	+1	+9.6%	▲0	-	+1	+9.6%	▲0	-	
その他調整・連結調整等	▲0	▲3	▲0	▲4	+0	-	▲1	-	+0	-	▲1	-	
<b>合計</b>	<b>698</b>	<b>32</b>	<b>802</b>	<b>14</b>	+104	+15.0%	▲18	▲55.6%	+36	+5.1%	▲20	▲63.8%	

# (参考) 地域別売上構成比率

## ● 連結売上高 (全体)

\* 外部向け売上高  
単位：億円



2020年12月期: 連結子会社化 SSP (独、2月) C3C (仏、7月)  
 2021年12月期: 連結子会社化 Sco-Fro (英国、2月)  
 2022年12月期: 連結子会社化 BCM (SGP、1月)  
 2024年12月期 (予想): 連結子会社化 UT (伊、2023/10月) ※2024年12月期よりPL反映

# 連結貸借対照表（要約）

## 財務方針

- ◆ プライム市場における持続的な成長のため、健全な財務基盤を維持しながら、積極的な事業拡大に向けた投資と安定的な配当を両立
  - 自己資本比率は、中期経営計画における目標値として30～40%を明示。

(単位：億円)

		2023年12月末	2024年3月末	増減額	主要な増減項目
資産合計	流動資産	1,776	1,851	+75	現金及び預金 +39 棚卸資産 +23
	固定資産	349	379	+30	リース資産(純額) +22
資産合計		2,125	2,229	+105	
負債合計	流動負債	477	583	+106	1年内返済予定の長期借入金 +68
	固定負債	849	808	▲41	長期借入金 ▲58
負債合計		1,326	1,391	+65	
純資産合計		799	839	+40	為替換算調整勘定 +48
負債・純資産合計		2,125	2,229	+105	
円ドルレート（期末レート）		141.83円	151.41円	+9.58円	
自己資本比率		38%	38%	+0pt	



Table of Contents



1. サマリー
2. 2024年12月期 第1四半期決算概要
3. **2024年12月期 業績予想・配当予想修正**
4. (参考) 戦略投資・その他計画の進捗
5. (参考) Wismettacグループについて

# 2024年12月期 連結業績予想修正

## 修正理由

- ◆ 中間(上期)連結業績予想の修正
  - アグリ事業：国内輸入青果事業において、抜本的な構造改革を上期中に前倒しで実施。
    - ✓ 取扱商材の絞込みや早期売却による在庫調整、費用構造の見直し等、各種施策を実施中もしくは検討。
    - ✓ 事業運営体制の一部縮小及び効率化に伴う一時費用の計上等、上期に損失を計上する見通し。
  - AFB事業：北米等における前期後半以降の人材の維持・確保を目的とした報酬水準の引上げ、倉庫設備等の賃料上昇等に加え、広範にわたる物価上昇により、販管費の増加が当初想定を上回る見通し。
- ◆ 通期連結業績予想の修正
  - アグリ事業における構造改革及び、当該取組みに伴う損失計上は、上期中に完了・発生する見通し。
  - AFB事業では、売上高及び粗利益を引き上げる各種施策に着手済。下期は販管費の増加を吸収し、期初予想通りを見込む。
- ◆ 期中平均為替レートは変更なし。

	FY2023		FY2024 予想				前期比	
	実績		期初予想 (2024年2月公表時)		修正予想		中間	通期
	中間	通期	中間	通期	中間	通期		
売上高	1,463億円	3,008億円	1,650億円	3,540億円	<b>1,650億円</b>	<b>3,540億円</b>	+187	+532
営業利益	57億円	110億円	70億円	150億円	<b>40億円</b>	<b>120億円</b>	▲17	+10
経常利益	65億円	125億円	70億円	150億円	<b>45億円</b>	<b>125億円</b>	▲20	+0
親会社株主に帰属する四半期/当期純利益	44億円	63億円	45億円	90億円	<b>30億円</b>	<b>80億円</b>	▲14	+17

(期中平均USD為替レート)

(140.56)

(135.00)

(135.00)

(期中平均EUR為替レート)

(152.00)

(145.00)

(145.00)

## 基本方針

- ◆ 将来の事業展開と財務体質強化のため内部留保を確保しつつ、安定的な配当を継続して実施。
- ◆ 配当性向を重要な指標とし、通期で30%程度の連結配当性向を目安とする。

## 株式分割・優待制度の変更について

### ◆ 株式分割の方法

- 2024年6月30日を基準日として、**1株につき3株の割合**で株式分割を実施予定。(2/14付「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」)
- 効力発生日：2024年7月1日

### ◆ 株主優待制度の変更について

- 2024年12月31日現在の株主名簿に記載されている株主様に対する贈呈(2025年3月下旬発送予定)をもって変更。

#### «変更前»

対象となる株主様 (株式分割を考慮した株式数)	クーポンコード (3,000円相当) の個数
100株以上 400株未満 (300株以上 1,200株未満)	1個 (3,000円相当)
400株以上 700株未満 (1,200株以上 2,100株未満)	2個 (6,000円相当)
700株以上 (2,100株以上)	3個 (9,000円相当)

#### «変更後»

対象となる株主様	クーポンコード (3,000円相当) の個数
300株以上 1,000株未満	1個 (3,000円相当)
1,000株以上 2,000株未満	2個 (6,000円相当)
2,000株以上	3個 (9,000円相当)

## 2024年12月期配当予想修正

- ◆ 2024年12月期中間及び通期連結業績予想の修正を踏まえ、以下の通り修正。

中間	1株当たり 60円	年間配当	1株当たり 170円 (分割後 56.66円)*
期末	1株当たり 110円 (分割後 36.66円)		



(\*) 分割した場合の金額を中間配当から遡及して記載。



Table of Contents



1. サマリー
2. 2024年12月期 第1四半期決算概要
3. 2024年12月期 業績予想・配当予想修正
4. **(参考) 戦略投資・その他計画の進捗**
5. **(参考) Wismettacグループについて**

# (参考) プライム上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
当社の 適合状況 及び その推移	2021年6月30日時点 (移行基準日)	4,907人	38,488単位	107.6億円	26.8%	0.28億円
	2023年12月31日	6,834人	38,047単位	217.1億円	26.5%	1.59億円
上場維持基準		800人	20,000単位	100億円	35.0%	0.2億円
計画期間		-	-	-	2025年12月末	-
適合基準		適合	適合	適合	不適合	適合

## 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況

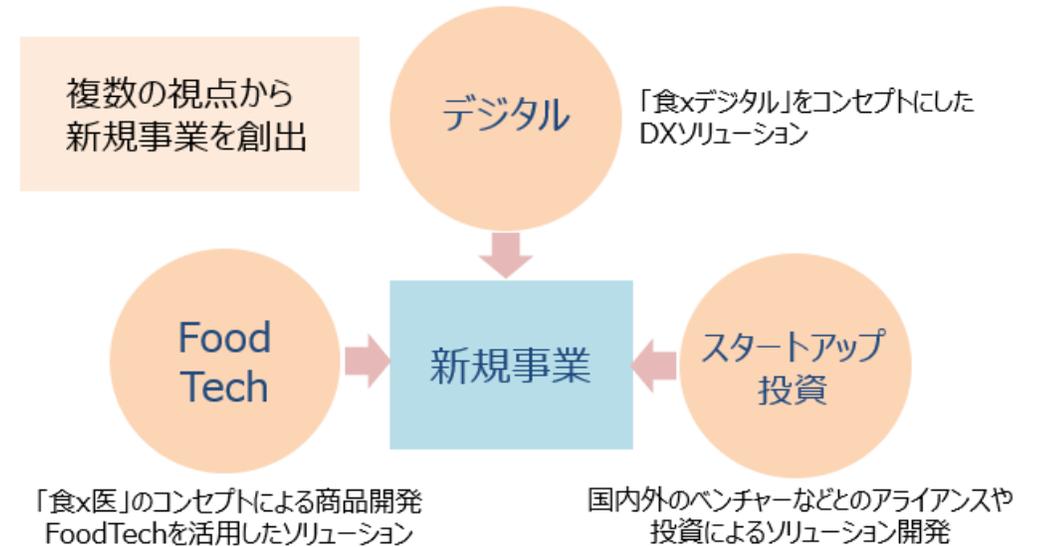
※2024年3月15日リリース「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」より抜粋

- ◆ 当社の2023年12月末時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、「流通株式比率」のみ基準未達。
- ◆ 2025年12月までに上場維持基準を充たすため、引き続きIR 活動の推進、コーポレートガバナンス態勢の強化をはじめとした各種取組を促進。
  - 株式の分割による投資単位の引き下げ：当社株式の流動性を向上させ、投資家層の拡大を図ることを目的に、2024年6月30日を基準日として、同日付の株主の所有する普通株式1株につき、3株の割合をもって株式分割を実施予定。
  - 流通株式比率の向上に向けての進捗：2024年3月8日に個人大株主より大量保有報告書が提出され、保有株式のうち300,000株について、2024年3月1日にみずほ信託銀行株式会社と有価証券処分信託契約が締結されたことを確認。本株式数は、当社発行済株式数(2023年12月31日時点、自己株式を含む)の2.09%に該当。

# (参考) 戦略投資の状況

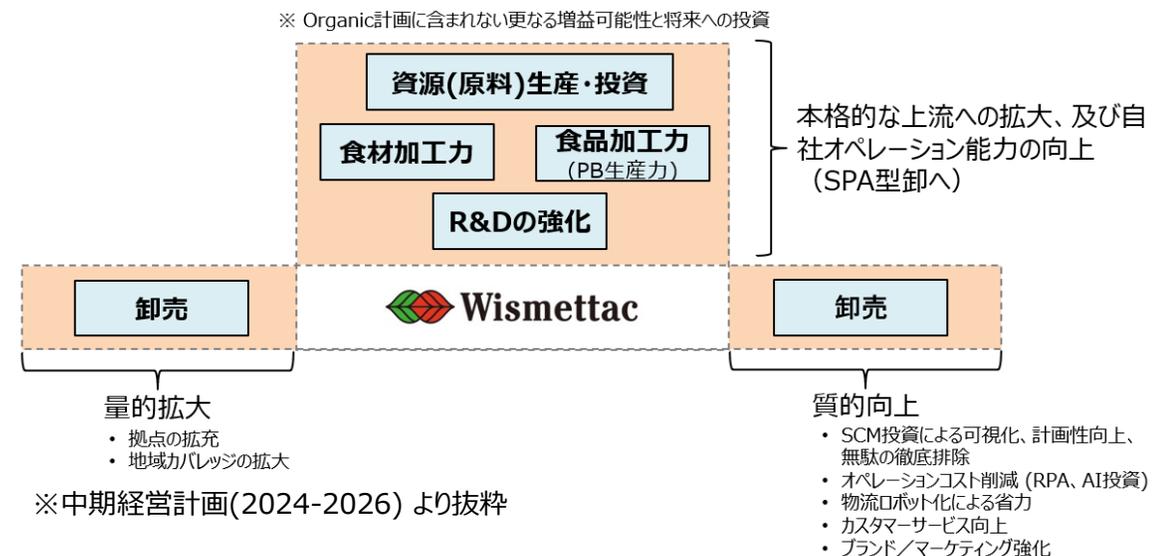
## 投資子会社 Wismettac Ventures合同会社の設立

- ◆ 2024年5月に投資子会社「Wismettac Ventures合同会社」を設立予定。
- ◆ 食の領域に特化したベンチャーキャピタルファンド等への投資を機動的に行い、将来的には当該ファンドの投資先であるスタートアップ企業との協業等、シナジーや新規事業の創出を目的とする。



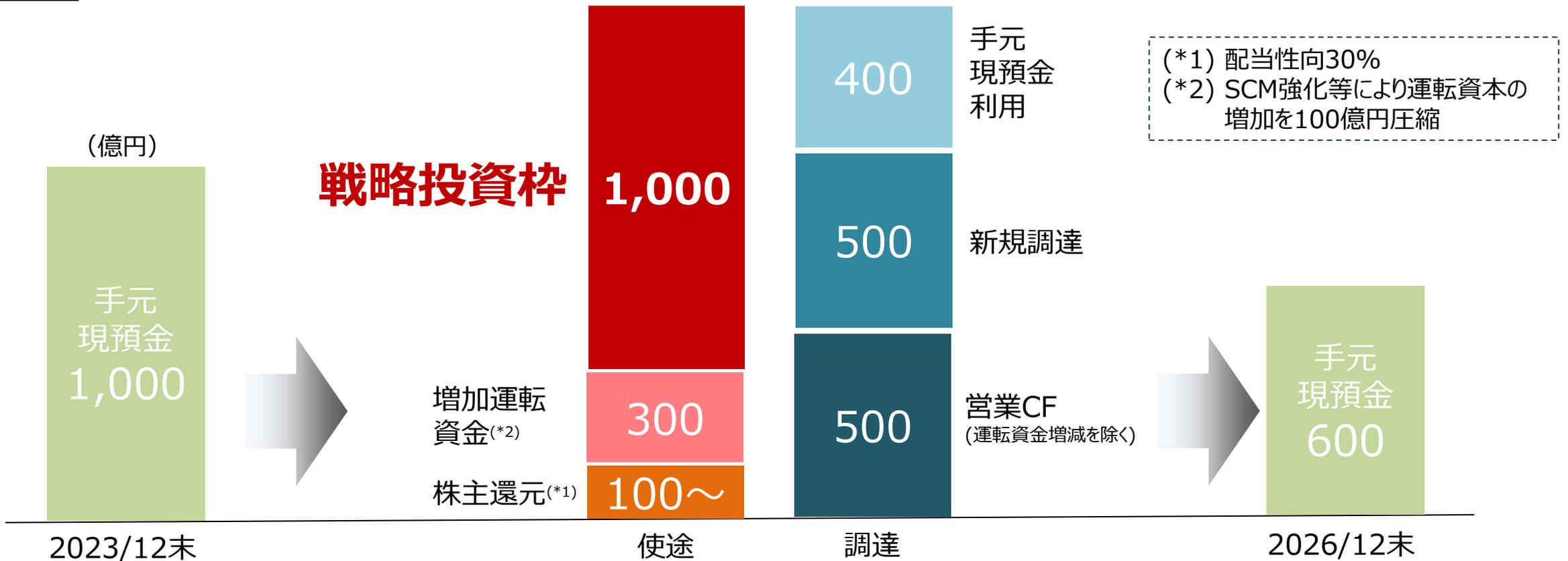
## Noodle Chef spółka z o.o. (ポーランド) への出資

- ◆ ポーランドにて製麺工場を保有する「Noodle Chef spółka z o.o.」の持分を新たに取得(持分法適用関連会社)。
- ◆ 「中期経営計画(2024-2026)」で掲げたAFB事業の目指す姿「アジア食のグローバルSPA」に向けた成長戦略として、上流への拡大・自社オペレーション能力の向上を図る。



# (参考) キャッシュマネジメントとアロケーション方針

※中期経営計画(2024-2026)より抜粋



## 1,000億円の戦略投資枠を設定して、以下3領域に集中投資

1. AFB事業におけるM&AやJVを中心とする未進出地域でのプレゼンス獲得、今後供給不足が懸念される商材への先行投資、R&Dケイパビリティ、RTE商品等の自社生産力向上投資、プラントベースシーフード/ミートや陸上養殖等の今後拡大が見込まれる上流への先行投資
2. 独占栽培権を持つ日本の青果物の海外生産・海外販売事業への投資
3. 食産業ソリューション事業、内外フードテックへの投資 (シナジーのあるスタートアップ事業買収を含む)

# (参考) 2035年に向けて

## 世界に名だたる食のグローバルソリューションカンパニーへ

中計'26(2024 - 2026)

売上：5,000億円  
営利：250億円

※修正後業績予想数値を反映  
売上：3,040億円  
営利：120億円

食のグローバルSPAへ

食のグローバルソリューションカンパニーへ

2023 2026 2029 2032 2035

### ④ メディカルフード(\*)事業領域の基盤生成

- 誰もが等しく美味しく食べられる食の開発・提供
- 産学連携やIP(知的財産)を活用した事業化

### ③ 新規事業創出による成長

- デジタルやフードテック等の新技術を活用したソリューション事業の創出 (3年間で10事業)

### ② 青果事業のグローバル展開推進

- 知的財産権を活用した日本の青果物の海外生産及び、海外販売事業を新たな収益の柱として育成
- 青果卸売事業の収益構造の多様化・安定化

### ① 既存事業の量的・質的成長加速

- 営業力・商品開発力強化による新規市場・販路開拓
- PB拡充と物流費低減による粗利率向上
- SCM強化と販売・輸出入業務のデジタル化・AI化による経費率低減
- 潤沢な自己資本・現預金を活用したM&A等による事業規模拡大

(\*) 医学的観点から特殊な栄養摂取の要求に対して設計された食品



Table of Contents



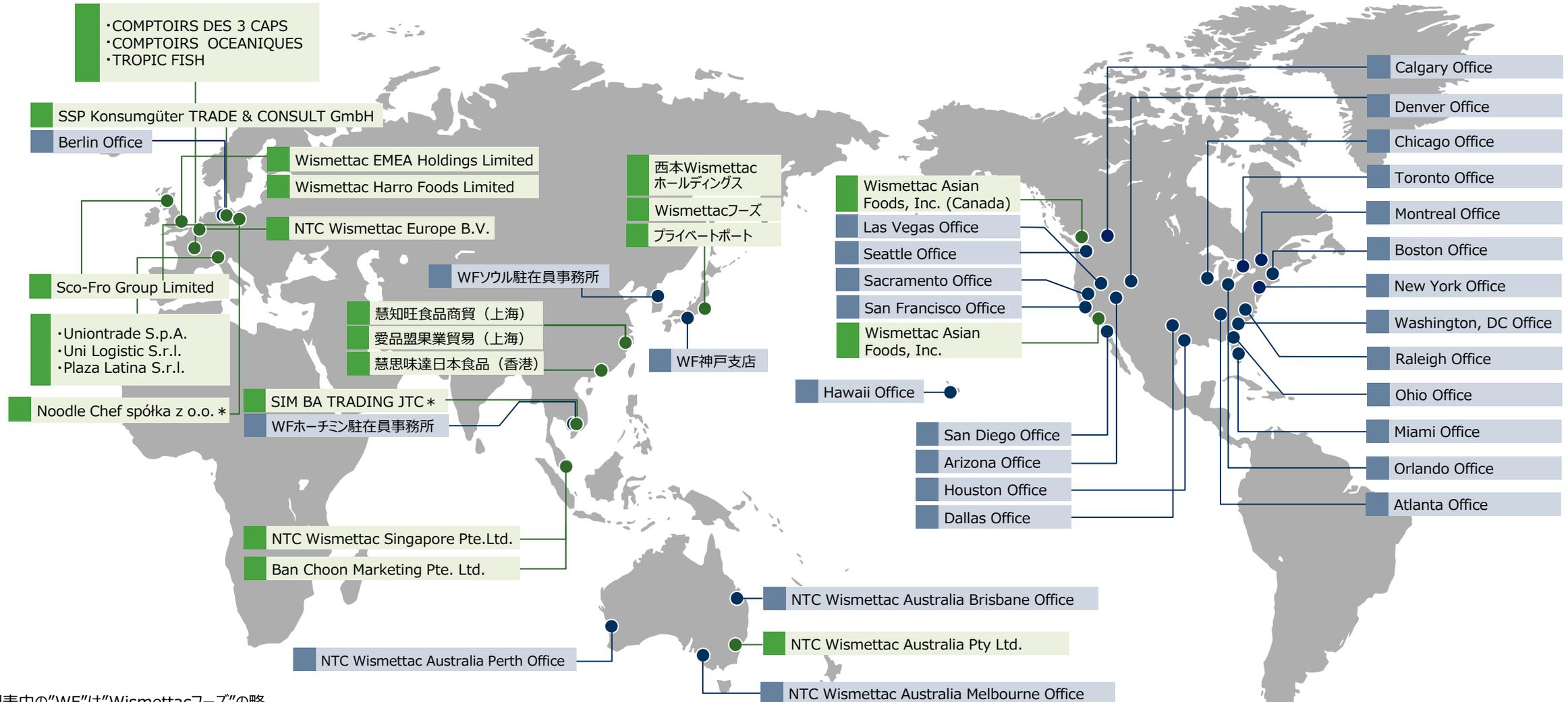
1. サマリー
2. 2024年12月期 第1四半期決算概要
3. 2024年12月期 業績予想・配当予想修正
4. (参考) 戦略投資・その他計画の進捗
5. (参考) **Wismettacグループについて**

◆ 明治45年(1912年)に創業後、世界市場に食材・食品を供給するグローバル企業へと成長

社名	西本Wismettac (ウィズメタック) ホールディングス株式会社 (東証プライム 9260)	
本社	東京都中央区日本橋室町三丁目2番1号 日本橋室町三井タワー15階	
創業	1912年5月	
代表者	代表取締役会長 CEO 洲崎 良朗	
従業員数	2,176名 (うちアジア食グローバル事業：1,656人) [2023年12月末時点]	
事業内容	<p>◆ アジア食品の開発及びグローバルでの販売</p> <p>◆ 青果物全般(フルーツ、野菜、その他加工品)の輸入販売、食品メーカー並びに          外食産業向けの食材の供給</p> <p>◆ その他国内向け販売(アメニティ商品、サプリメント、メディカルフード等)</p>	
子会社、関連会社	子会社24社、関連会社2社 [2024年3月末時点]	
拠点所在地	世界45か所 (うち北米拠点：24か所) 日本・米国・カナダ・シンガポール・オーストラリア・オランダ・英国・ドイツ・フランス・イタリア・中国・香港・ベトナム・韓国	
連結売上高	3,008億円 [2023年12月期]	* 海外売上比率 79.6%
連結経常利益	125億円 [2023年12月期]	
自己資本比率	38% [2023年12月期]	

# 国内・海外のWismettacグループ

◆ 北米、欧州、豪州、アジアにおいて45拠点を有し、グローバルに事業を展開。北米(アメリカ・カナダ)は24拠点を有し、売上の過半以上を占める



図表中の“WF”は“Wismettacフーズ”の略

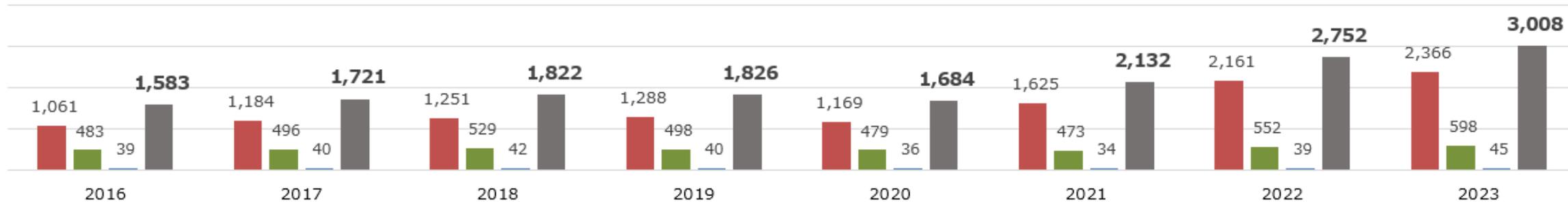
\* 持分法適用関連会社

# Wismettacグループ<sup>o</sup>成長の歩み - 業績推移 -

(億円)

連結売上高 (セグメント別・合計)

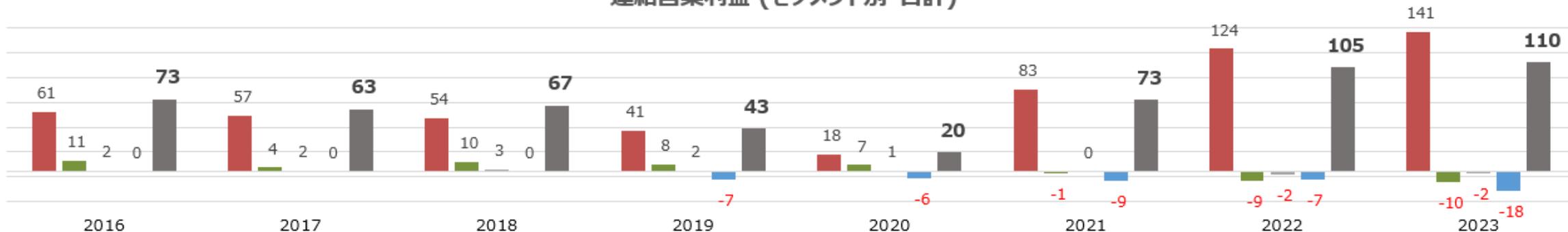
■ アジア食グローバル事業 ■ アグリ事業 ■ その他事業 ■ 合計



(億円)

連結営業利益 (セグメント別・合計)

■ アジア食グローバル事業 ■ アグリ事業 ■ その他事業 ■ 調整項目 ■ 合計



(億円)

連結総資産・連結純資産

■ 連結総資産 ■ 連結純資産



## 注意事項

本資料は、西本Wismettacホールディングス株式会社及び関係会社(以下当社)の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。

本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社はこれらの情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。

資料の作成には、当社は細心の注意を払っておりますが、以下の点についてはあらかじめご了承ください。

- 掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず、一切責任を負いません。
- 日本語版と英語版の両方が公表されている資料について、日本語版と英語版に相違がある場合は日本語版を正とみなすものとし、翻訳による誤解から生じたいかなる損害についても責任を負いません。

本資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。

### 【お問合せ先】

西本Wismettacホールディングス株式会社

経営管理室 03-6870-2015

Email (代表) : <https://www.wismettac.com/ja/contact.html>